

事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 コロロ横浜アトラス

公表 令和5年2月24日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改 善内容又は改善目標	
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	4	2		広いとは言えないので、活動内容により、都 度机やイスを片付けてスペースを確保して います。		
	② 職員の配置数は適切である	6					
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされている	6	0				
業務 改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目 標設定と振り返り）に、広く職員が参画して いる	5	1				
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	6			避難訓練の周知は地域の災害マップと合わ せて行い、保護者の皆さんに認識してい ただけました。	個人情報に配慮しつつ、活動 内容をお伝えするおたよりを 定期的に発行できるようにす る	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	6					
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			6			
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	6					
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を作成している	6					
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	6					
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	6					
適 切 な 支 援 の 提 供	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	6			子どもたちに必要なプログラムは行いつつ、 プログラムの順番、歩行ルートや目的地を 変え、子どもたちの適応力が育つように常に 工夫をしています。		
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	6					
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計 画を作成している	6					
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担につ いて確認している	6					
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気 付いた点等を共有している	5	1		先に退出するスタッフとは職場内LINEで共 有しています。		
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげている	6					
	⑱ 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しを判断している	6					
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	6					
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふさ わしい者が参画している	6					
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている		3	3	送迎サービスがないため、学校との相互の 情報交換は無いので、保護者の方から学校 の年間計画を預り、行事や長期休暇を把握 しています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			6	対象のお子さんが現在おられません。		
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている			6	新1年生でいらしたお子さんが所属していた 事業所とは、直接情報共有をしたことはあり ません。保護者を通してお子さんのこれまで の様子を伺っています		
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している			6	これまで、事業所から情報を求められたこと がありません。		
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている			6	当社独自の療育方法があり、療育の技術や 理論研修を研修している。また、グループ施設 との連携をし、幼児から成人期の障害児 者に対する技術や理論を学んでいます。		
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障 害のない子どもと活動する機会がある		2	4	児童クラブ等との交流はないが、療育プログラ ムの一つであるダイナミックリズムでは、 当グループの幼稚園児や利用者のご兄弟 も参加し、一緒に活動をする機会があります。	個人情報に配慮しつつ、活動 内容をお伝えするおたよりを 定期的に発行できるようにす る	
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参 加している	5	1		参加することにより、コロナに逼っているお 子さんが利用されている事業所の方とも 話ができて、良い機会と思っています。		
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っている	6					
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支援 を行っている	6					
	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6					
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	6					
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	5	1		保護者会はないが、定期的に保護者のための 勉強会を開き、保護者同士が環らつなが る機会を設けています。コロナ禍により202 2年度は開催が少なかったが、2023年度 は開催回数を増やしていく予定です。		
	㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に周 知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対 応している	6					
	㉞ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6			活動予定、連絡事項等は発行しています が、そこに活動内容が盛り込めるようにして いきたいと思っています。		
	㉟ 個人情報に十分注意している	6			記録簿には施錠をしている。 年賀状もたくさんいただいたが、室内とはい え、住所や名前が公表されてしまうこと から掲示を取りやめました。		
	㊱ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	7					
	㊲ 事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている			6			
	非 常 時 等 の 対 応	㊳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知している	6				
		㊴ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	6				
		㊵ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	6				
		㊶ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者 に事前に十分に説明し理解を得た上で、放 課後等デイサービス計画に記載している		2	4	現在、身体拘束が必要なお子さんはいませ ん。療育上必要な時があったら、保護者と相 談をし、了解を得ます。でも一時的なものであ り、外していただくこともプログラムをとお説 明すべきと思います。	
㊷ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている		6					
㊸ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している		6			日々の日誌に記録したことを、一か月にまと めて横浜教室だけでなく、全園の教室と共 有し、検討会を開いて、次につながるよう にしています。		

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、コロロ横浜アトラスに所属する職員全体で行った自己評価です。